

新刊

「あなたの健康のために— 島根大学医学部附属病院の最新治療」を出版しました

これまで当院は、高度先進医療の実施に努め、地域の皆さまに安全・安心かつ最新の治療を提供してまいりました。

多くの皆さまに当院の診療内容を知っていただくため、平成26年7月に「島根大学医学部附属病院の最新治療が分かる本」を出版し、大変好評を得ておりましたが、出版から3年が経ち、治療も日々進化していることから、本年7月に最新版として「あなたの健康のために—島根大学医学部附属病院の最新治療」を出版しました。

本書では、最先端のトピックス、当院で実施する最新治療をさらに分かりやすく解説しております。皆さまにお読みいただき、健康維持に少しでも役立てていただきたいと思います。

県内主要書店・島根大学生協・院内ローソンで取り扱いをしています。



島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

10月15日～11月14日

対象者： 一般 一般市民 医療 医療関係者 本学 本学教職員・学生

開催日	時間	開催名	場所(★印 学外開催)	対象者	主催者
10/15(日)	9:30～11:30	平成29年度 島根県がんピアサポーター相談会	外来中央診療棟3階 カンファレンスルーム「だんだん」	一般	島根大学病院
10/21(土)	9:20～16:55	平成29年度 島根県がん診療連携拠点病院 がん看護研修(緩和ケア)ELNEC-Jコア カリキュラム看護師教育プログラム	みらい棟4階ギャラクシー	医療	島根大学病院
10/22(日)	9:00～16:00	看護師のためのがん診療セミナー	B病棟4階 カンファレンスルーム	医療	先端がん治療センター、 腫瘍・血液内科

詳細については、医学部・附属病院ホームページ【研修会・講演会・セミナー】をご覧ください。



NEWS



CONTENTS

- ・教授就任の挨拶
- ・健康寿命の延長を目指して！
肺炎球菌ワクチン接種の重要性
- ・「あなたの健康のために—島根大学医学部
附属病院の最新治療」を出版しました
- ・島根大学医学部における
研修会・講演会・セミナー開催情報

教授就任の挨拶

リハビリテーション医学講座 教授 まにわ そうきち 馬庭 壯吉

リハビリテーション医学講座に期待されているのは専門医の育成であります。今年度は島根県において当院で2名、松江市立病院で1名の医師が研修を開始しました。来年度からは新専門医制度での研修が始まります。1名でも多くの専攻医を獲得できるように魅力あるプログラムを構築したいと思います。

2025年問題に対処するために、急性期、回復期、生活期の連携を促進し、地域包括ケアでリーダーシップを発揮できる専門医を養成します。特に生活期では医師会の先生方と一緒にケアマネージャーや関連職種との知識・技術の水準を高め、医療資源や社会資源の有効活用を目指してまいります。

社会貢献として災害リハビリテーションに取り組んでいます。大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会(JRAT)活動を推進するために、島根リハビリテーション協会、島根県健康福祉部と協力して“JRAT 島根”の整備を行っています。昨年5月には熊本地震での支援活動を行いました。

脳性麻痺や脳卒中後遺症による痙縮に対してボツリヌス療法(図1)を行っています。その効果をさらに増強する電気刺激療法(図2)を併用した集中訓練を行い、筋力増強や機能回復を促したいと思います。

障害を克服し、機能を回復させ、活動を育むリハビリテーション医学の普及に努めてまいりたいと思いますので、宜しくご指導賜りますようお願い申し上げます。



図1 ボツリヌス療法による痙縮の治療

左：治療前は親指の伸展ができなかった。
右：治療後は親指の伸展が可能になった。

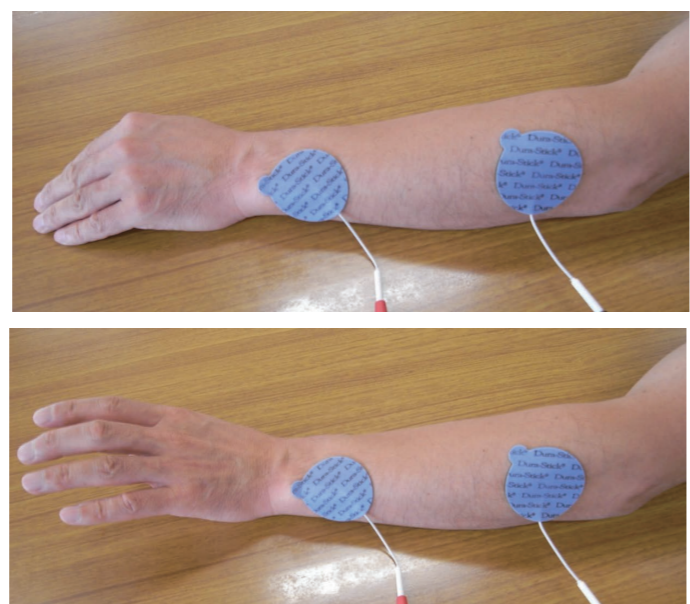


図2 電気刺激療法の併用

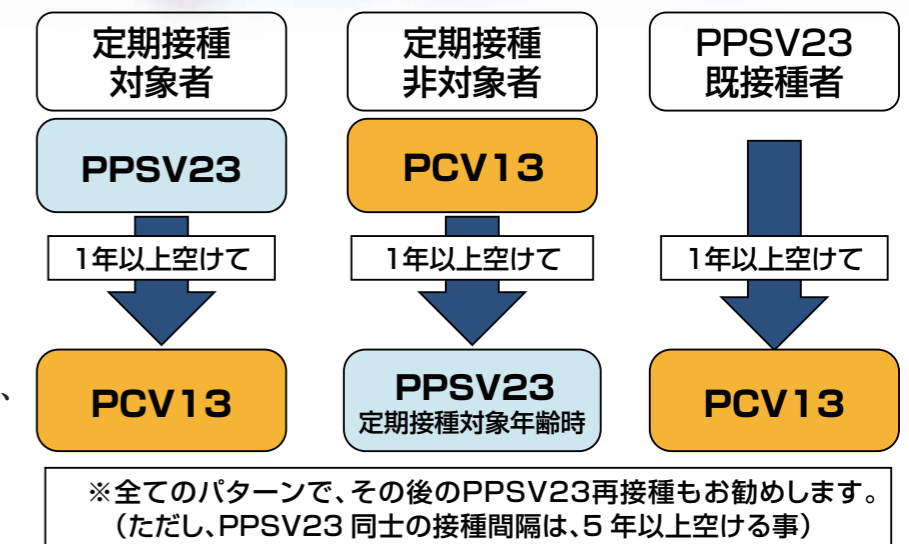
ボツリヌス療法の痙縮抑制効果を増強し、さらに筋力増強や機能回復を期待できる。(対象は図1と異なります。)
上：電気刺激なし。
下：患者の自動運動に電気刺激を併用している。

問合せ先 リハビリテーション部
TEL:0853-20-2457

健康寿命の延長を目指して! 肺炎球菌ワクチン接種の重要性

呼吸器・化学療法内科 診療科長 いそべ たけし 磯部 威

肺炎球菌ワクチンの接種方法



肺炎は、日本人の死因の第3位を占める疾患です。肺炎の原因菌は肺炎球菌の頻度が高く、高齢者に感染すると重症化するリスクが高いため、肺炎球菌ワクチンの接種が推奨されています。成人に使用可能な肺炎球菌ワクチンは65歳以上の高齢者(2~64歳の高危険群も可)に使用可能な23価莢膜多糖体型肺炎球菌ワクチン(PPSV23:ニューモバックス®)と、65歳以上の高齢者に使用可能な13価蛋白結合型肺炎球菌ワクチン(PCV13:プレバナー13®)です。PPSV23について

は2014年から、65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳の年齢となる年度に接種費用の一部を公費助成によって受けることが可能です。PCV13は定期接種化されていないため、接種費用は全額自己負担となります。PPSV23はB細胞を直接刺激するために免疫記憶が得られませんが、莢膜型のカバー率が高く、一方PCV13は肺炎球菌多糖体にキャリア蛋白が結合しているため免疫記憶が得られます。インフルエンザワクチンを併用することで、どちらのワクチンも肺炎球菌性肺炎の発症を抑制することが臨床試験によって確認されています。2017年4月に発刊された日本呼吸器学会の成人肺炎診療ガイドラインでも、肺炎球菌ワクチンの接種は行うことが強く推奨されています。実際の接種方法ですが、肺炎球菌ワクチンの未接種者については、対象となる年齢の時にPPSV23を接種し、その1年後にPCV13の任意接種を受けることをお勧めします。一方、PPSV23未接種で、当該年の定期接種対象でない65歳以上の成人は、PCV13の任意接種を先に受け、その後に定期接種としてPPSV23を受けることがよいでしょう。図は接種方法を私見でわかりやすくまとめたものですので一つの目安としてください。

問合せ先 呼吸器・化学療法内科(医局)
TEL:0853-20-2580



ご報告

ISO14001 (環境マネジメントシステム)の 更新審査を受審しました



医学部附属病院EMS対応委員会委員長 こだま たつお
児玉 達夫

本学では、環境に関する国際標準規格であるISO14001の認証を、2006年3月に松江キャンパスで取得し、2008年3月に出雲キャンパスを含めた拡大認証を取得しました。2012年以降は出雲キャンパス単独で認証を更新しています。学内組織としてEMS対応委員会を設置し、環境教育・環境研究、エネルギー、生活系、実験系、診療系の各作業部会に分かれて活動しています。作業部会ごとに目的・目標を設定し計画を立て、活動に取り組んでいます。当院内で取り組んでいる医療安全や感染対策などの業務と環境管理活動をリンクして行い、安心安全な医療環境の確立や感染性廃棄物の適切な管理を行っています。

去る8月29日～9月1日に認証機関による3年に一度の更新審査を受審したところ、ストロングポイント1件、グッドポイント5件、改善の機会10件を外部審査員より指摘頂きましたので、今後の活動の推進に活かしていきます。



学長インタビュー

施設見学

C病棟8階

廃棄物保管場所



薬剤部

材料部

クリニカルスキルアップセンター



お知らせ

ロービジョン外来を開設しました

眼科 助教 原 かつり
はら 克典

当院では、この9月から眼科専門外来としてロービジョン外来を始めました。この外来は、日常生活に支障をきたすような視機能障害をもつ患者さんのケアを行う事を目的としています。キュア(治療)が目的ではなく、その患者さんの現状の視機能で、よりよく見る工夫を提案したり、福祉制度の利用を促したりします。近年、このロービジョンケアの重要性が広く認識されはじめています。具体的には、写真のような視覚補助具(ルーペ、拡大読書器)、遮光眼鏡、生活補助具(音の出る時計など)の紹介を行ないます。ロービジョンケアの取り扱う範囲は幅広く、医療関係者だけでは実現できません。島根県ライトハウスライブラリー・盲学校などの福祉・教育分野の専門家と連携しています。見えにくさを抱えながら不自由な暮らしをされている方は多くおられ、潜在的なニーズが高い分野です。まだ、2ヶ月に1度の外来となっていますが、順次体制を整えて参ります。



左上:拡大読書器 右上:ルーペ(拡大鏡)各種
右下:遮光眼鏡 左下:音の出る時計(2種)

問合せ先 眼科外来 TEL: 0853-20-2391





ご報告



がん征圧月間イベント

「第2回がん治療とともにあなたの暮らしを支えるヒント」を開催しました

がん征圧月間イベント実行委員会

がん治療による副作用は、患者さん・ご家族の生活にさまざまな影響を与えてしまいます。治療中、副作用があっても少しでも暮らしやすくなるようにとの願いを込めて、9月6日(水)、第2回がん征圧月間イベントを開催しました。

ミニセミナー「がん治療について」、「治療中の副作用対策」では、医師、薬剤師から、「がん治療と仕事」では、がん専門相談員、ハローワーク出雲、産業保健総合支援センターから、治療中の就労へのサポート体制について情報提供がありました。

また、「リハビリ」、「栄養」、「口腔ケア」、「仕事」、「アピランス(外見)ケア」、「スキンケア」、「ハンドマッサージ」の各コーナーを設け、個別相談をお受けいたしました。

最後は医療スタッフによる弦楽器のミニコンサートで締めくくりました。

いつもとちがう雰囲気のエントランスホールでしたが、「有意義なイベントだった」、「演奏で心が癒やされました」、「楽しかったです」と、来院された方からお声をいただきました。

今後も、患者さん、ご家族の笑顔のある暮らしをめざし、院内医療スタッフのみならず院外専門職との連携を図っていききたいと思います。



お知らせ

医師会・歯科医師会会員の方限定 当院休日人間ドックの実施状況と今後の予定について

しおた ゆり
臨床検査科 助教 塩田 由利

平成26年度より開始しました当院の休日人間ドックは、お陰様で年々受検者数が増え、認知度が高まってきたように感じます。今年度は6月4日(日)、7月23日(日)および11月19日(日)で募集致しました。すでに先の2回は終了しておりますが、お申込みいただいた多くの先生方(6月:20名のべ96件、7月:25名のべ105件)、大変有難うございました。新たに始まった婦人科ドック(6月のみ)も、女性の先生方に好評をいただきました。また、今年度から脳ドックには県内最高スペックとなる最新鋭MRIを導入し、小さな病変まで検出可能です。

11月19日実施分の申込締切は10月20日(金)ですが、胃がんドック、上腹部ドックは大変好評で、すでに定員に達しました。他のオプションは若干空きがございますので、ご希望の先生は早急に下記問い合わせ先に照会の上、ファックスにてお申込みいただきますようご案内致します。基本項目を省略し、オプション項目のみの受検も可能です。先生方が心地よく受検いただけることを目標に、検査の待ち時間ができるだけ少なくなるように時間配分し、スタッフ一同お待ちしております。当院ドックが多忙な先生方の健康チェックにお役にたてれば幸いです。

問合せ先 臨床検査科 TEL&FAX: 0853-20-2245 dock@med.shimane-u.ac.jp

留守電にお名前・連絡先・ご用件をお話し下さい。後日担当者から連絡致します



基本コース	料金 21,600円	オプションコース名	検査内容	料金
診察等	内科診察、身長、体重、BMI、腹囲、視力、聴力	上腹部ドック	超音波検査	4,320円
胸部健診	心電図(12誘導)、胸部X線撮影(胸部ドック選択者は不要)	胃癌ドック	胃内視鏡	9,720円
眼科	眼底カメラ撮影	胸部ドック	胸部単純CT検査	12,960円
尿検査	尿中一般物質半定量(比重、pH、糖、蛋白、ケトン体、ビリルビン、ウロビリノーゲン、亜硝酸塩、白血球、ヘリコバクター抗体)	乳癌ドック	マンモグラフィ	4,320円
便検査	便中ヘモグロビン	脳ドック	MRI検査	17,280円
血液一般	血液検査一般(WBC、RBC、Hb、Ht、MCV、MCH、MCHC、PLT) 血液像(好中球、好酸球、好塩基球、単球、リンパ球)	頸椎症ドック	MRI検査	17,280円
生化学検査	TP、Alb、T-Bil、AST、ALT、LDH、ALP、γ-GTP、T-cho、HDL-Cho、LDL-Cho、LDL/HDL、TG、BUN、Crea、Glu、HbA1c、UA、CRP	腰椎症ドック	MRI検査	17,280円
肝炎マーカー	HBs抗原、HBs抗体、HCV抗体	骨粗鬆症ドック	骨塩定量検査(DEXA)	2,160円
腫瘍マーカー	AFP、CEA、CA19-9、シフラ、PSA(男性)、CA125(女性)	心臓ドック	超音波検査	7,560円
		動脈硬化チェック	中心血圧測定、頸動脈超音波検査、脈波測定(3-4誘導)	4,320円
		生活習慣病遺伝子ドック	血液検査	32,940円





お知らせ



新生児マススクリーニング検査に新たな疾患 (オルニチントランスカルバミラーゼ欠損症:OTC欠損症)を追加!

こばやし ひろのり
小児科 助教 小林 弘典

この度、8月21日より新生児マススクリーニング検査に新たな疾患(オルニチントランスカルバミラーゼ欠損症:OTC欠損症)を追加する研究が始まりました。OTC欠損症は高アンモニア血症発作によって重度の神経学的後遺症をきたす疾患で、これまででは技術的な問題でスクリーニングができなかったところを、当院小児科ではこれを解決し実用化する事ができました。現在は当院で出生した児を対象として実施していますが、順次県内の全ての出生医療機関で出生した新生児に本検査を提供できるよう事務手続きを開始しているところです。



当院では島根県の要望をうけ、今年度から院内の難病総合治療センター検査部門の中に新生児マススクリーニング検査室を設置いたしました。新生児マススクリーニングとは、出生後にわずか数滴の血液を染みこませたろ紙を検査することで、早期発見、治療によって予後を改善することができる先天性の疾患を見つける検査で、現在25疾患のスクリーニングが行われています。島根大学小児科学教室はこれまでもこの分野で多くの情報発信を行ってきました。これからも関係機関の方々と密な連携をとりつつ、新生児マススクリーニングの質向上に努めるとともに、セミナーの開催などを通じて皆様に最新の情報やスクリーニング事業の成果などを情報発信していきたいと考えています。

問合せ先 小児科外来 TEL: 0853-20-2383



お知らせ



第14回 島根大学医学部附属病院関連病院長会議を開催します

地域における医師不足の問題が山積している中で、地域医療等の充実を図る取組や地域定着を含めた医師確保対策についての積極的な対応が継続的な課題です。

このたび、これらの諸問題を踏まえて、関連病院と当院の機能分担と一層の協力・連携体制づくりを念頭に、第14回目の標記会議を下記のとおり行うこととしました。

なお、今年度は会議後の懇親会を行わず、会議中、休憩時間中にフリーにご利用いただける軽食・ドリンクを用意しました。

お気軽に参加いただきますようお願いいたします。

● 第14回島根大学医学部附属病院関連病院長会議

日時 平成29年10月19日(木) 18時から ※休憩を挟み2時間程度

場所 ニューウェルシティ出雲 出雲市塩冶有原町2-15-1(電話:0853-23-7388)

議題等

(1)教育・研修

- 1) 地域医療支援学講座
- 2) しまね地域医療支援センター
- 3) 卒後臨床研修センター

(2)診療体制

- 1) 高度外傷センター
- 2) 総合ハートセンター
- 3) 先端がん治療センター

(3)診療

- 1) タ・ヴィンチ手術 腎がん腎部分切除術
- 2) リンパ浮腫に対するスーパーマイクロ手術
- 3) 遺伝性乳がん卵巣がん患者に対するリスク低減卵巣卵管切除術
- 4) 卵管鏡下卵管形成術
- 5) 骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下仙骨脛固定術
- 6) TAVI準備状況

(4)先進医療新規追加分

- 1) 前眼部三次元画像解析
- 2) 神経変性疾患の遺伝子診断
- 3) 子宮体癌に対する腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術

(5)臨床研究

- 1) 島根大学 研究者主導臨床研究: 肺がん患者の血栓塞栓症
- 2) 先端がん治療センターにおける肺がんプレジジョン医療の診療体制確立 (SCRUM-Japan連携施設)
- 3) 再生医療センターの活動

(6)医師派遣検討委員会

(7)当院の運営状況について





ご報告

医学生の夏季地域医療実習報告会を行いました

地域医療支援学講座 准教授 さの ちあき
佐野 千晶

今年の「夏季地域医療実習」が夏季休暇中の8月15日から17日に行われ、32名の医学生が参加しました。この実習は保健所企画で行われ、松江、出雲、雲南、奥出雲、県央、浜田、益田、隠岐島後、隠岐島前の各圏域の、病院、診療所、介護施設などでの体験参加型実習プログラムとなっています。実習は振り返り（フィードバック）が非常に大切です。実習から帰った翌日の18日、大学の国際交流ラウンジで行われた実習報告会では、参加学生同士が、将来島根の医療の担い手となる仲間意識を持つ機会になるようにと、グループメンバーを2回交替するグループワーク形式で行いました。参加した医学生は、実習で最も印象に残ったことを発表し、次に地域での「課題」を抽出し、その解決策を活発に話し合いました。県・保健所からも参加いただき和気あいあいとした雰囲気の中、真剣かつ楽しく議論が深まりました。「医師以外の医療職が不足しているように思った。」「子育てしやすい環境だと医療者が働きやすいのでは。」「医師が、多くの人々の支えがあって活躍していることがわかった。」「ソーシャルキャピタルが豊かな地域で仕事がしたい。」といった意見がありました。今後も多くの医学生が地域医療実習に参加し、「島根」を楽しんでくれることを期待しています。



本実習は、多数の皆様、施設に多大なご協力をいただき成り立っております。心より御礼申し上げます。



ご報告



環境整備ボランティア活動を行いました

医学部会計課施設管理室長 米原 昌隆
よねはら まさたか

当院の環境整備には、各種団体のボランティアの方々にお世話になっています。また、教職員・学生による環境整備も年に数回実施しています。

この度、当院では、「島根大学附属病院における環境整備ボランティア要項」を制定しました。これは、附属病院における環境整備を推進するために学外者の厚意による環境整備に加え、当院の教職員から募る職員ボランティアによる環境整備活動を展開し、附属病院区域を中心に美化を図るものです。今後実施される定期的な環境整備活動により、美観が維持されることが期待されることです。

去る9月3日（日）の早朝にはこの要項の趣旨に賛同した病院長以下7名の有志による環境整備活動が実施されました。日頃、診療器具を持つ手を鎌や刈払機に持ち替え、附属病院に隣接した臨床研究棟周辺の剪定等に従事し、さっぱりとした景観になりました。（写真は、作業終了後に綺麗になった臨床研究棟前を背景にした写真です。）



左より、山田助教、椎名教授、井川病院長、廣瀬教授、田島教授





ご報告

松江市民フォーラム 「島根大学病院の最新治療」2017 秋 を開催しました

さわやかな秋晴れの9月24日(日)、松江テルサにおいて「松江市民フォーラム『島根大学病院の最新治療』2017 秋」を開催し、129名の参加者がありました。

松江市民フォーラムは、昨年から年2回開催しており、今回で3回目となります。

井川幹夫病院長の挨拶の後、3人の講師が当院の最新治療について分かりやすく講演しました。

まず、呼吸器・化学療法内科の磯部威教授が「肺がん」や「気管支喘息」、「肺線維症」などの呼吸器疾患の原因・症状・治療法を説明すると、参加者は大きく頷いていました。

続いて、脳神経外科の秋山恭彦教授が、「当院で行っている最新の脳神経外科治療について」と題し、「クモ膜下出血」、「脳動脈瘤」、「脳梗塞」について、症状と治療法を紹介しました。出血を最小限に抑える最新の手術が紹介されると、参加者は映像に引き込まれていました。

最後に、眼科の大平明弘教授が、「糖尿病黄斑浮腫」に有効な治療法である硝子体注射が高価であることから、アイスランド大学と点眼薬を共同開発し、臨床試験で大きな効果が実証されていると話すなど、皆真剣に聞き入っていました。

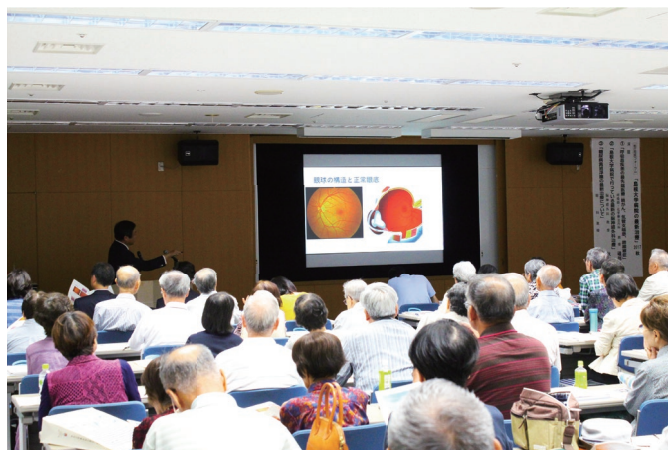
講義後の質疑応答は途切れることなく、島根大学病院への関心の高さが伺われました。アンケートには、「たくさんの最新治療を実施していることがわかった」「今後は島根大学病院を受診してみたい」など、多くのコメントをいただきました。

講座内容

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| ①呼吸器疾患の最先端医療：肺がん、気管支喘息、肺線維症 | 呼吸器・化学療法内科 教授 磯部 威 |
| ②島根大学病院で行っている最新の脳神経外科治療 | 脳神経外科 教授 秋山 恭彦 |
| ③糖尿病黄斑浮腫の最新治療について | 眼科 教授 大平 明弘 |



質疑応答の様子



講演の様子

